

「高等教育と生涯学習を横断する質保証」 （第4回）

# 生涯学習に活かす デジタルバッジ -初等中等教育教員研修の現場から

大阪教育大学

特任教授 堀真寿美

---

# あらまし

1. 大人の学びとマイクロ credenシャル
2. オープンバッジのコンセプト
3. 大阪教育大学の事例
4. 生涯学習の展望

A large, solid red shape on the left side of the slide, resembling a stylized 'V' or a parallelogram, pointing towards the center.

# 大人の学びとマイクロ credenシャル

# 大人の学び

マルカム・ノールズのペダゴジーとアンドラゴジーの概念モデル

体系性や系統性を欠きやすい



## 大人の学び (アンドラゴジー)

自己主導的

自己概念

経験を学習資源として活用

経験

達成欲求・自覚

レディネス

直近の課題解決

志向性

内因的動機

動機

## 子どもの学び (ペダゴジー)

依存的

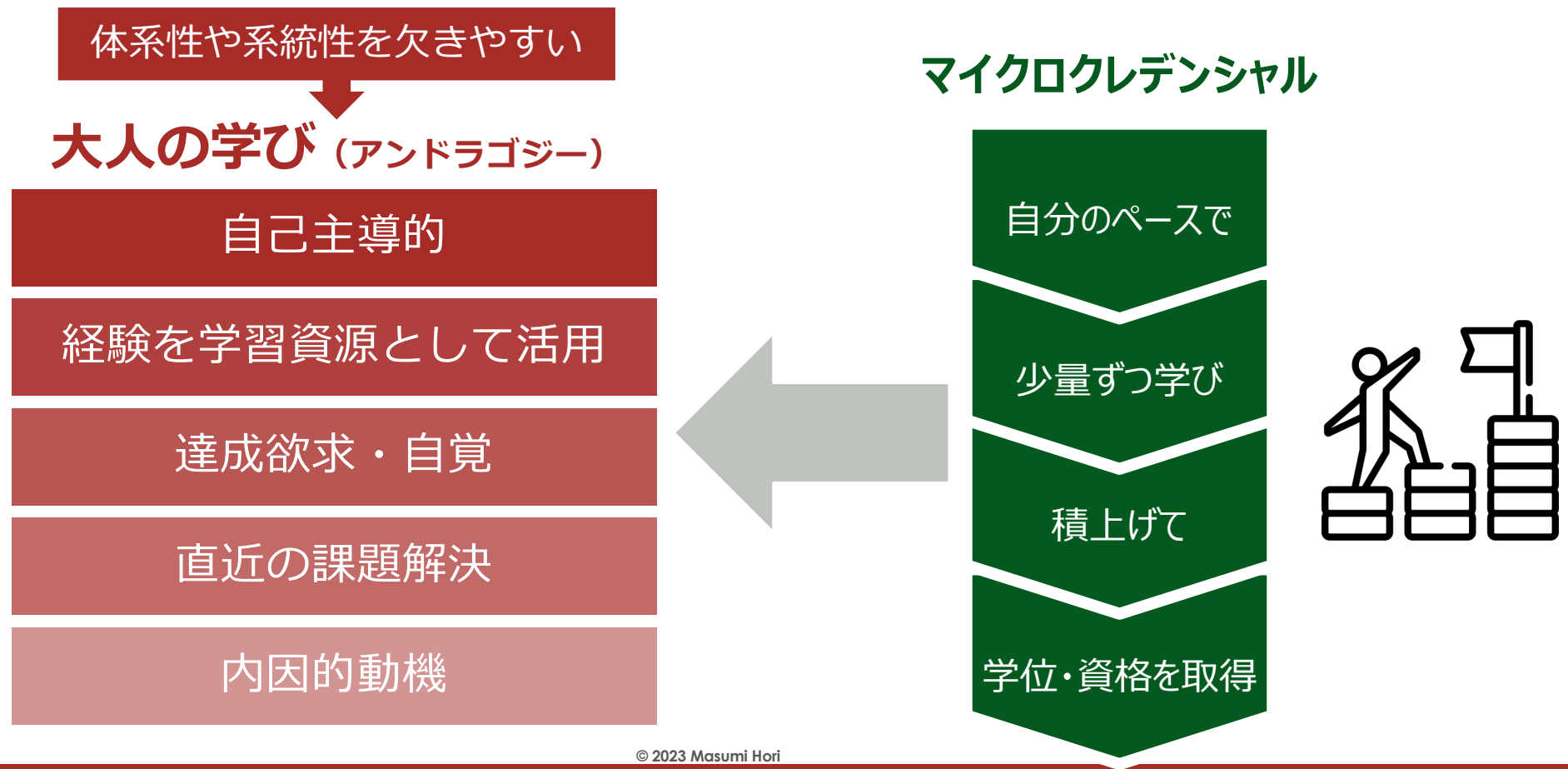
経験はあまり重視されない

年齢・社会的プレッシャー

将来、役にたつかも知れない

外部からの賞罰

# 大人の学びの欠点を補うマイクロクレデンシャル

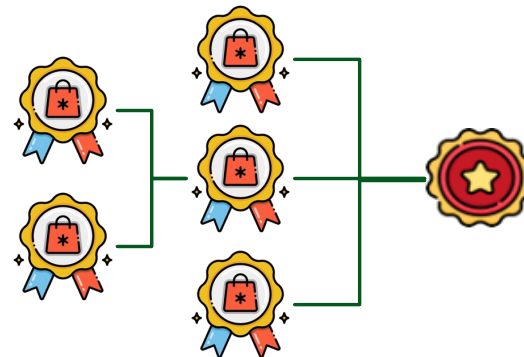


# 大人の学びにおける マイクロクレデンシャルの課題

## 課題

- 動 機：学位・資格取得が必ずしも動機とならない
- 時 間：大人は本当に忙しい
- 質保証：質保証が大変

オープンバッジで  
クレデンシャルを発行

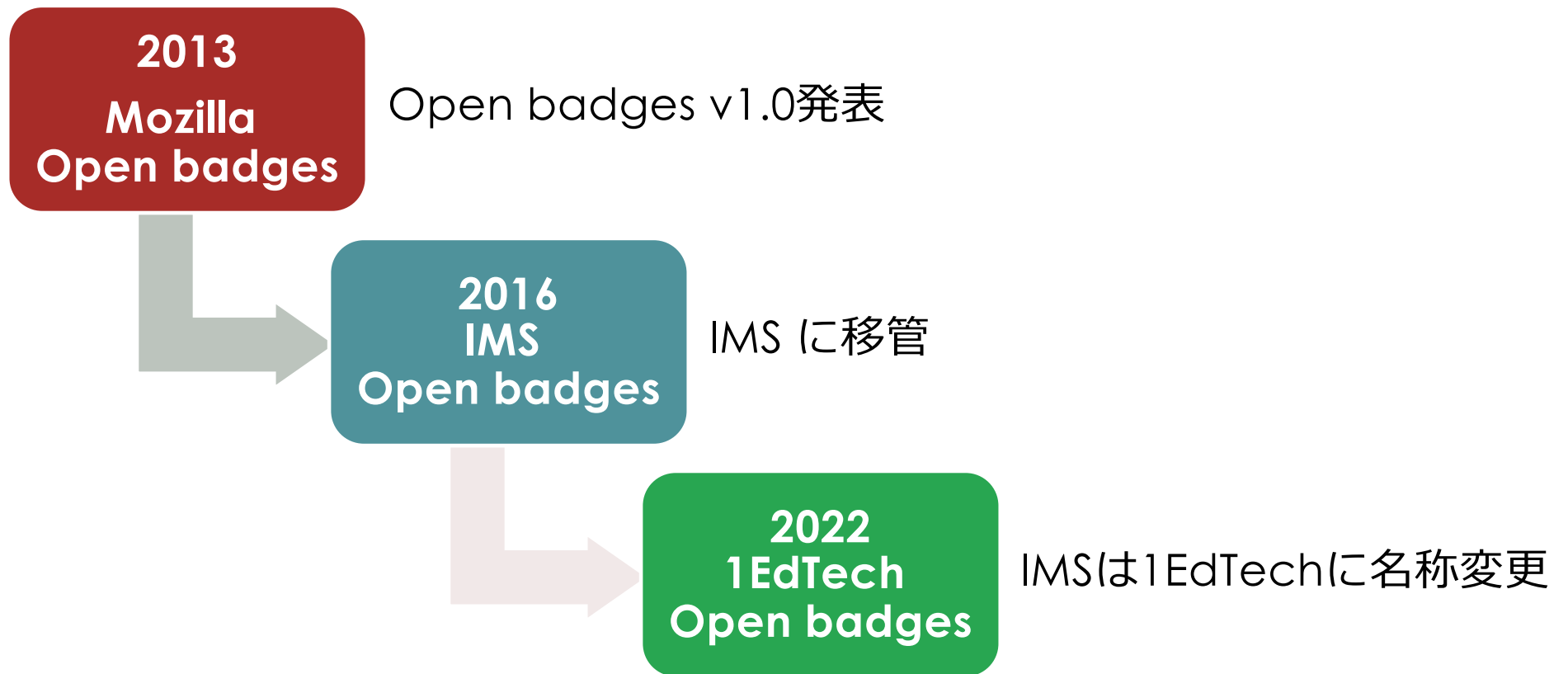


# オープンバッジのコンセプト

画像にデジタル証明書を埋め込んだ理由

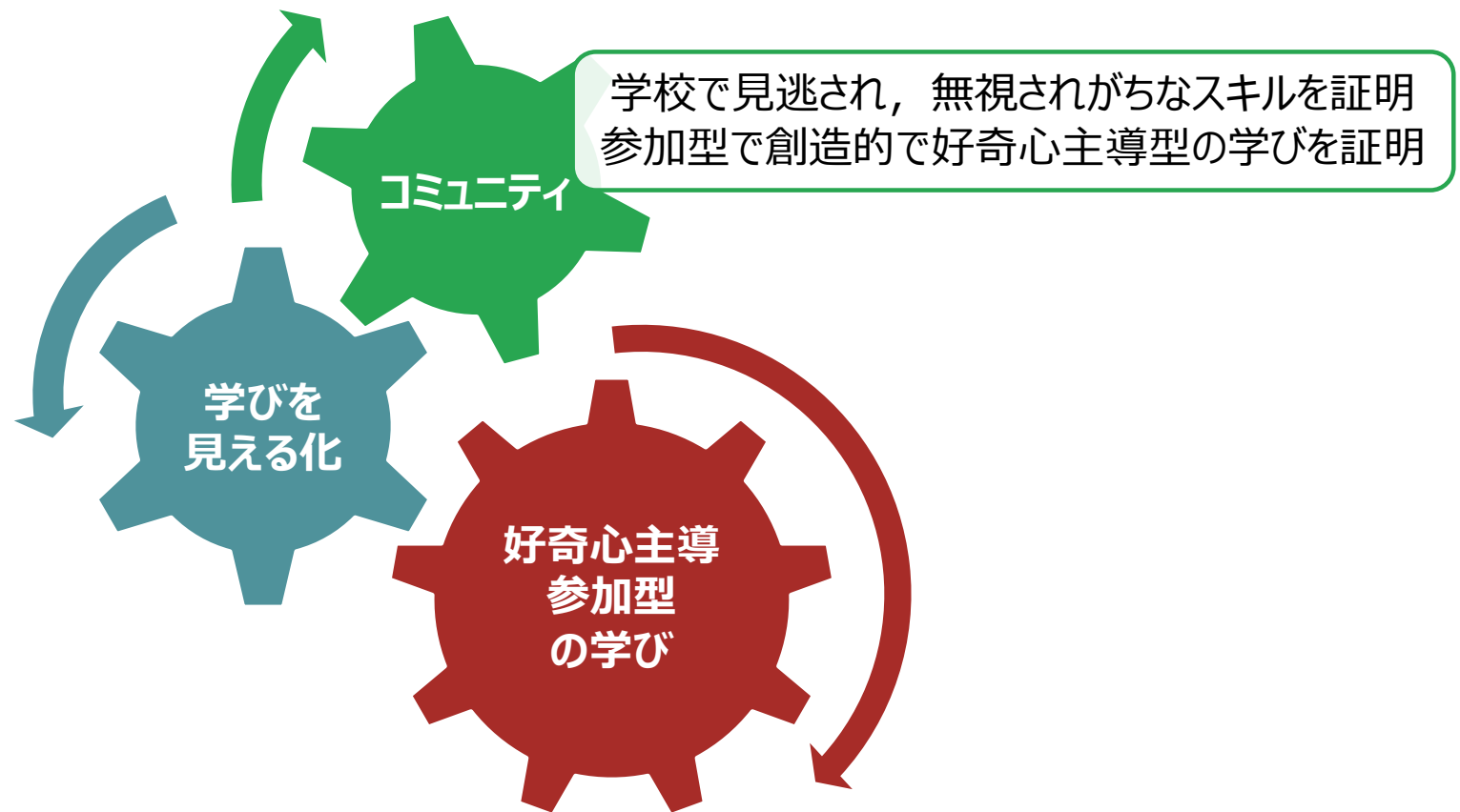
# オープンバッジとは

## Mozillaが開発したデジタルバッジ



# Mozilla Open badgesのコンセプト

画像にデジタル証明書を埋め込んだ理由



# オープンバッジの3つの特徴

発行

誰でも credenシャルの発行が可能

裏書

endorsement

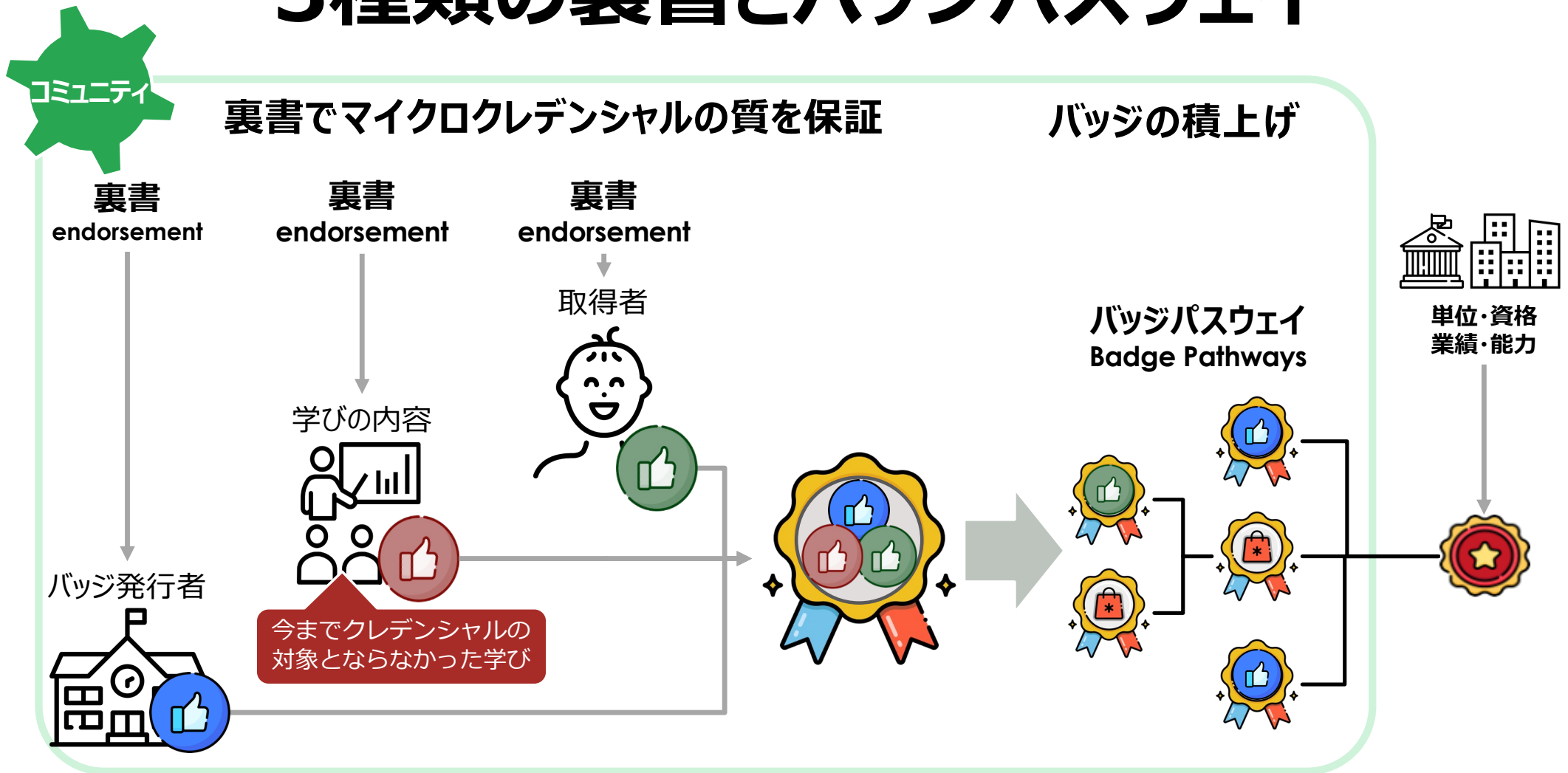
コミュニティで学びの質を保証

バッジ  
パスウェイ

学びを積み上げ

コミュニティ

# 3種類の裏書とバッジパスウェイ



A large, solid red shape on the left side of the slide, consisting of a vertical rectangle and a triangle that points towards the center.

# 教員研修での実証実験

# 実証実験の目的

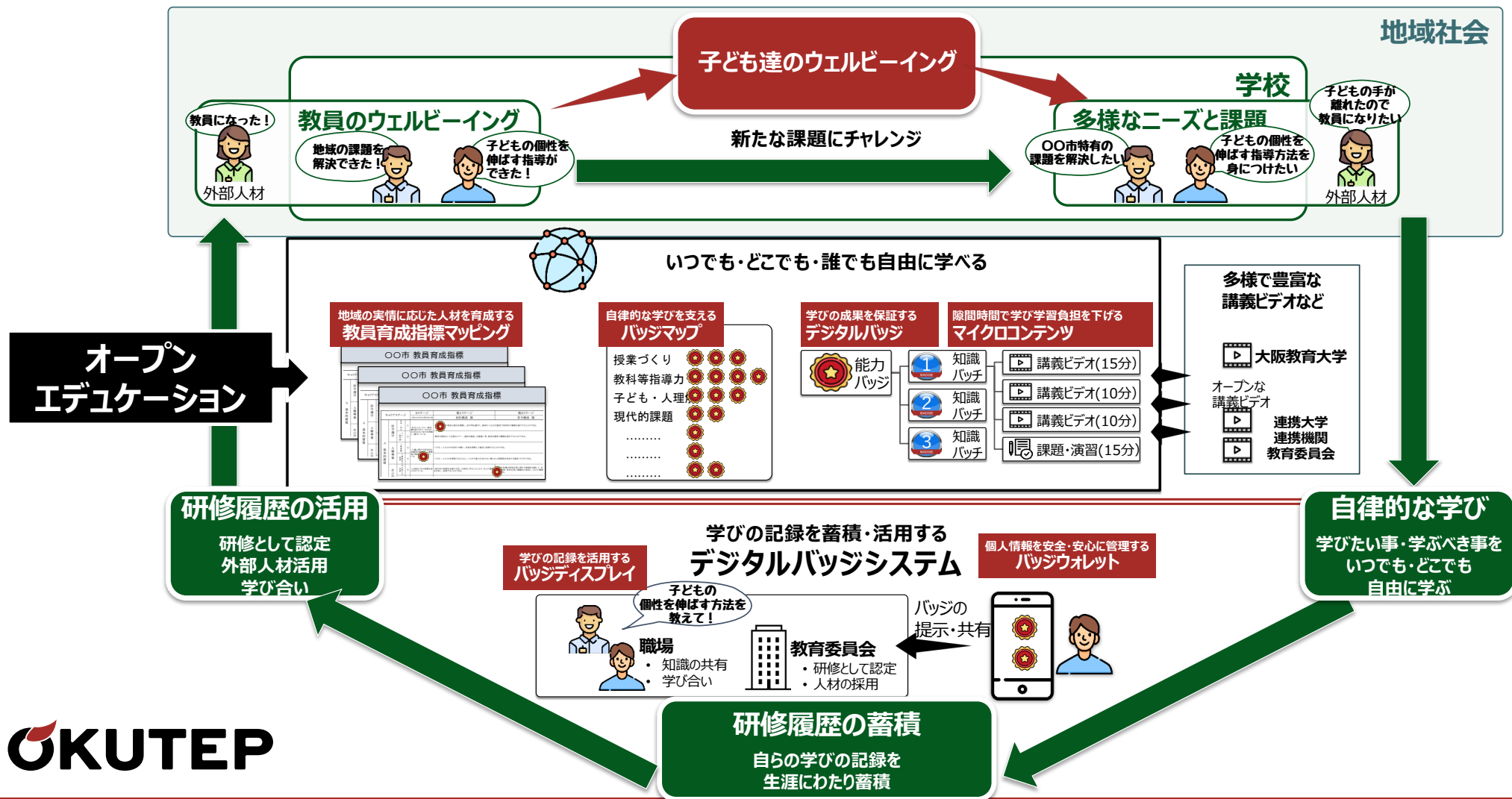
## ■ 学校は教職という専門職業人のコミュニティ

- 大人の学びの特性を知る
- 大人の学びのコミュニティでデジタルバッジは機能するか

## ■ ナノクレデンシャルの効果

- マクロコンテンツで構成される, より粒度の小さなマイクロクレデンシャル

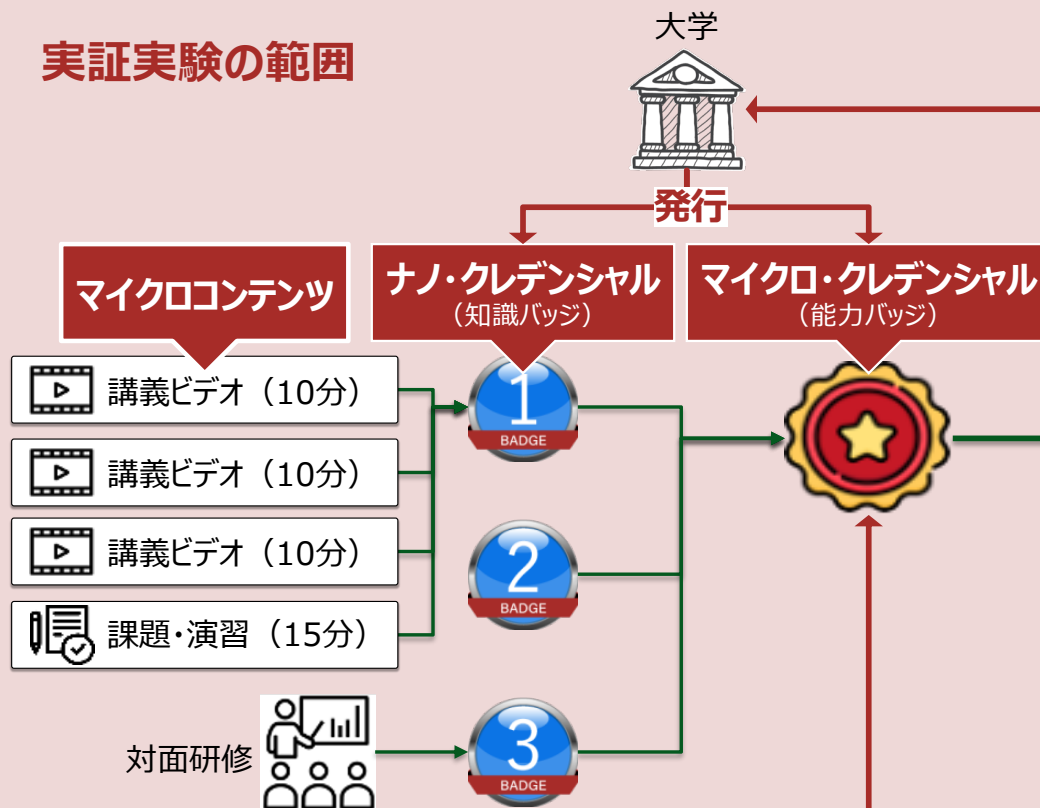
# OKUTEPオンライン研修プラットフォーム



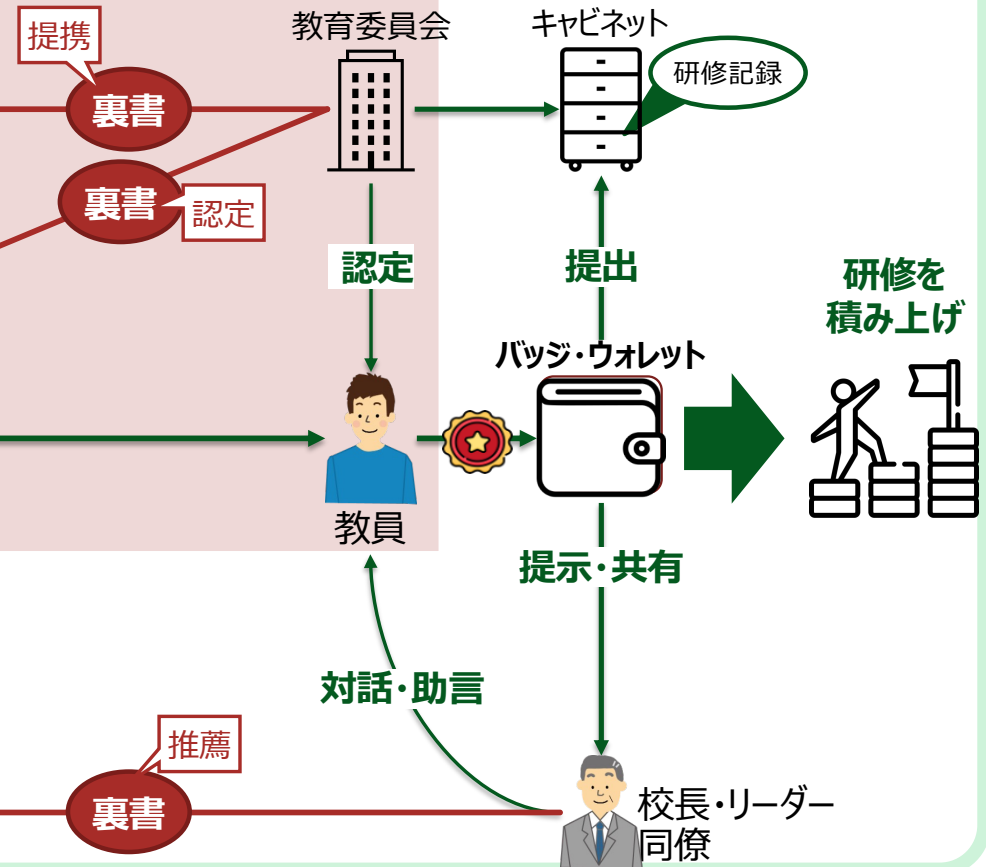


コミュニティ

## 実証実験の範囲



## クレデンシャルの活用



# 大阪市教育委員会との実証実験

## ■ 期間

－ 令和4年8月1日～1月10日

## ■ 実証の方法

- － デジタルバッジの提出により中堅教員研修の一部を代替可能とする
- － 提供科目は全15科目，受講科目は自由
- － 知識バッジの数により代替できる研修数を決定

通常の対面研修  
or  
オンライン研修  
を自由に選択

**OKUTEP**

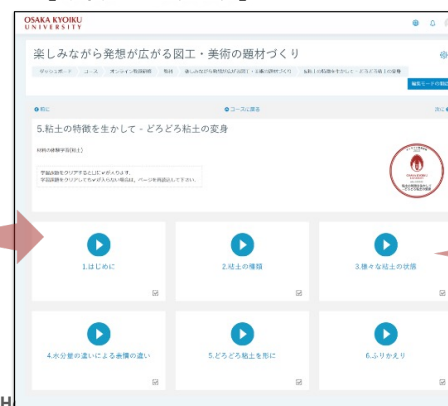
【実証実験サイト】



【能力バッジと知識バッジ】



【マイクロコンテンツ】



【講義ビデオ】

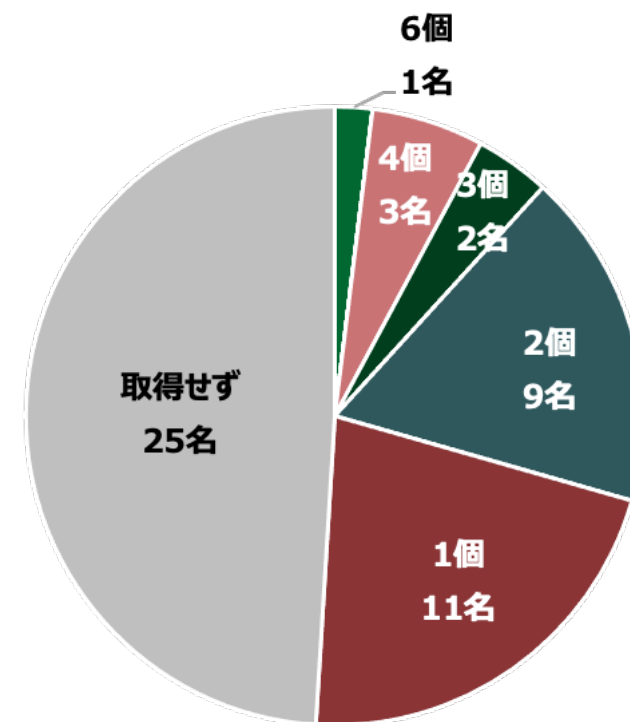


# 実証実験結果

## 受講状況

|                |       |              |
|----------------|-------|--------------|
| 受講対象者数         | 約360名 |              |
| 受講者数（のべ）       | 111名  |              |
| 受講者数（ユニーク）     | 52名   | 対受講対象者:14.2% |
| 能力バッジ取得者数（のべ）  | 53名   |              |
| 能力バッジ取得数（ユニーク） | 26名   | 対受講者数:51.0%  |

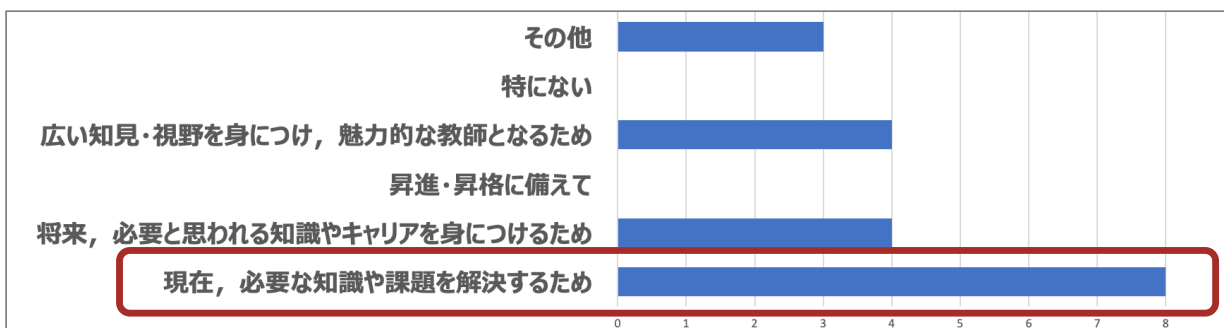
## バッジ取得状況



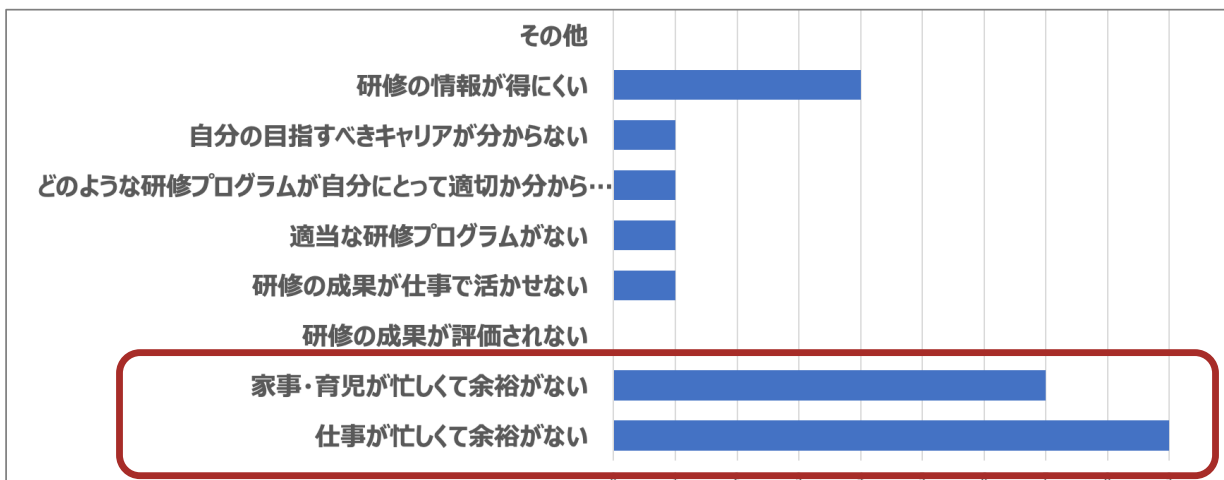
# バッジ取得者に対するアンケート (サンプル数26)

## 大人の学習の特徴を示す

### 研修の目的

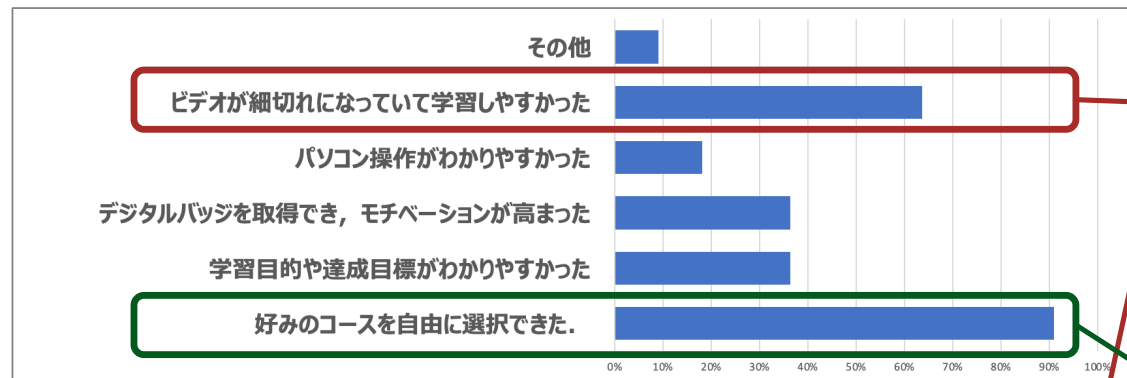


### 研修を疎外する要因



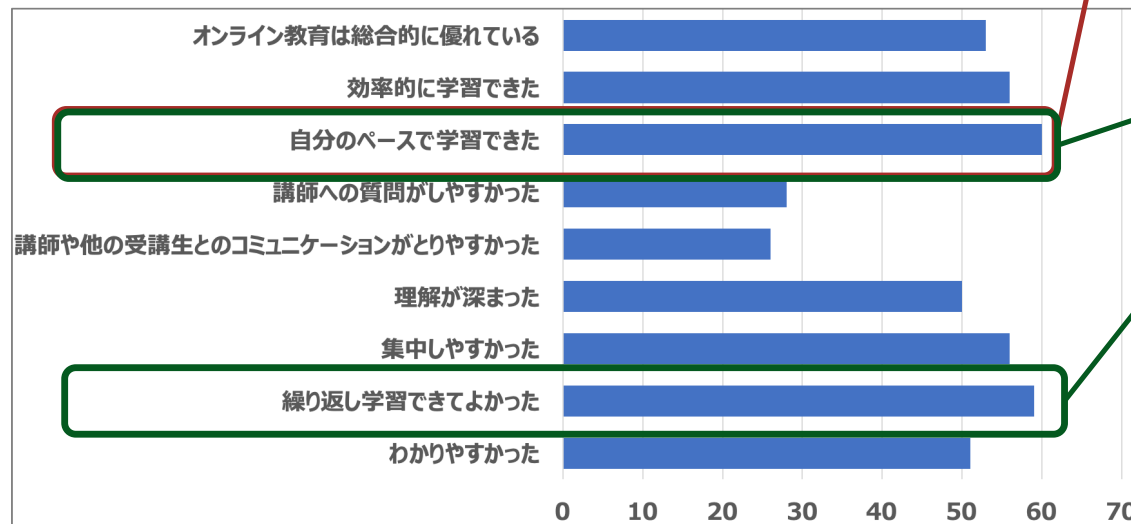
# ナノ・クレデンシャルの効果

## 満足した点



時間・労力の負担を軽減

## 対面研修より優れている点

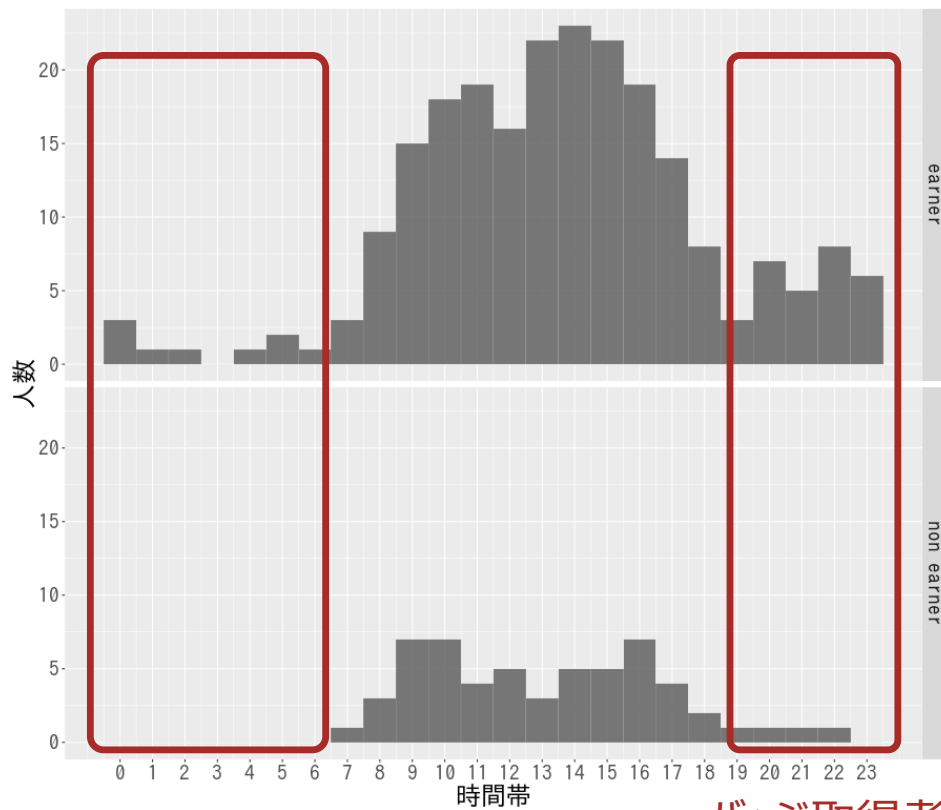


主導的な学び

# 学習時間

義務ではない内因的動機が学びを支えている

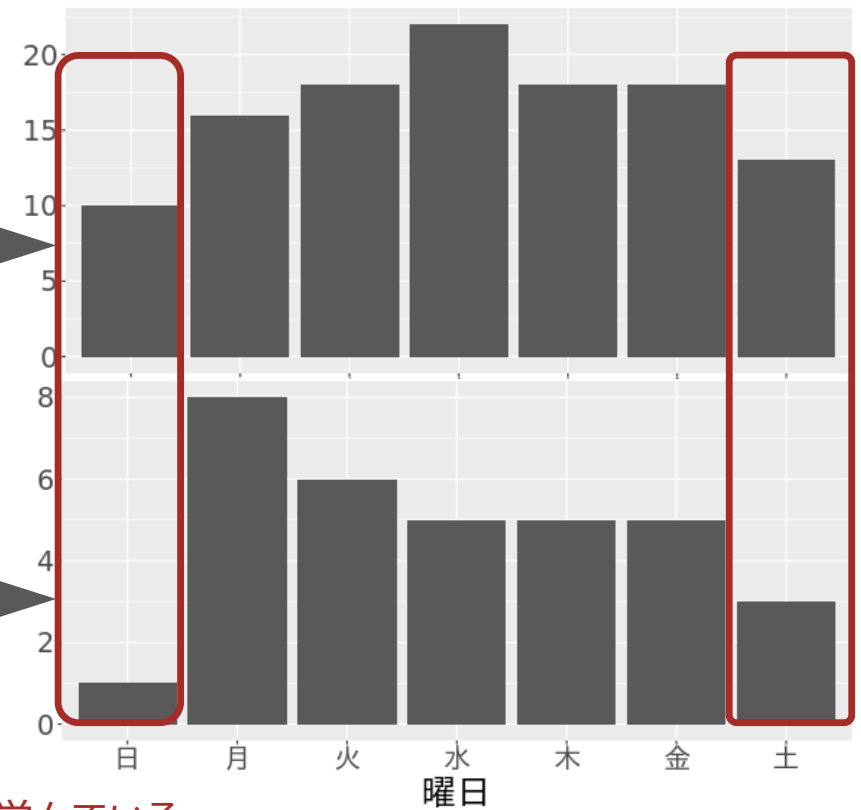
時間帯毎のアクセス数



バッジ  
取得者

バッジ  
未取得者

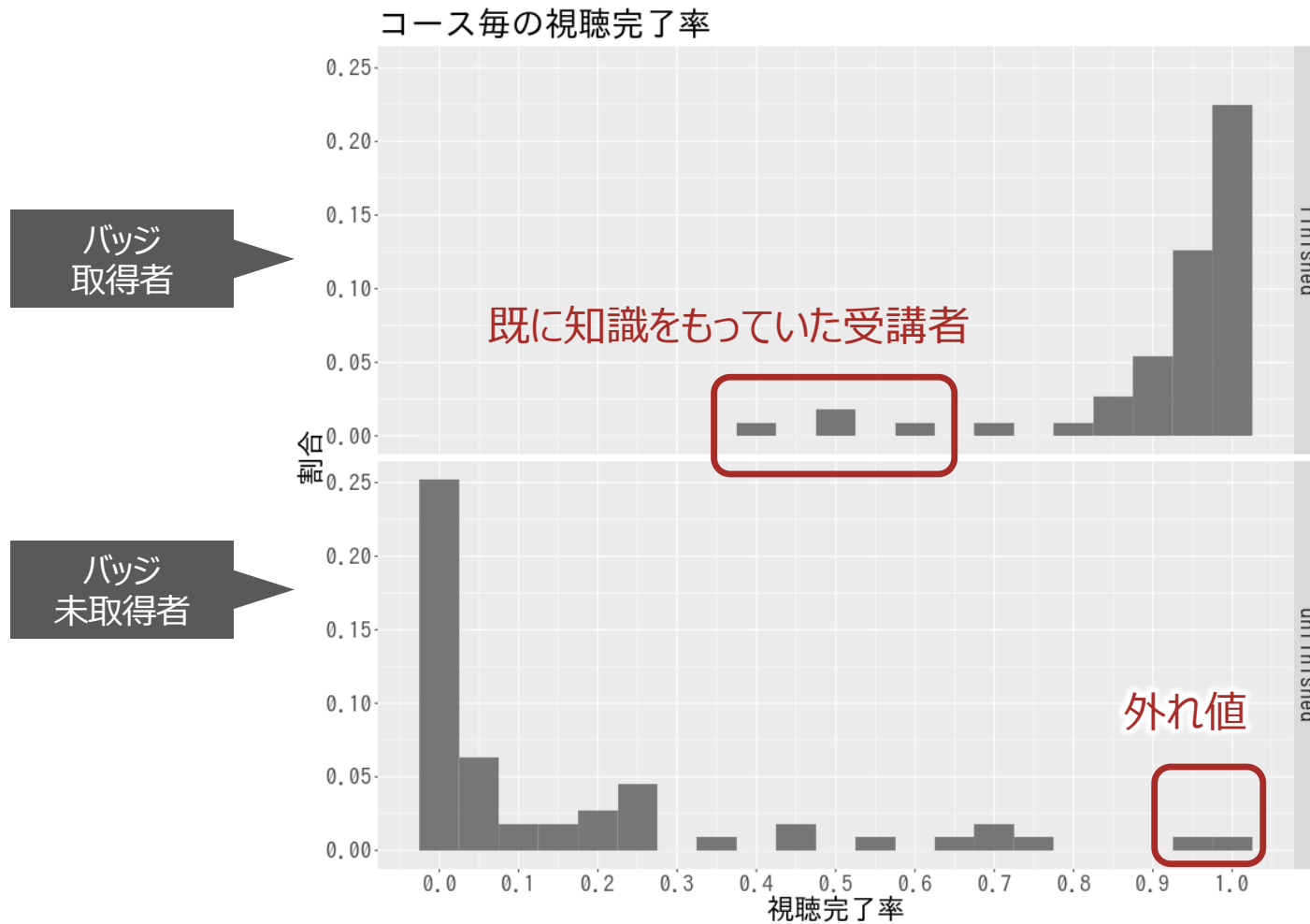
曜日毎のアクセス数



バッジ取得者は就業時間外に学んでいる

© 2023 Masumi Hori

# コース毎の視聴完了率



# デジタルバッジの効果

## ■ 学習者のメリット

- 研修成果の見える化
  - － 学習修了確認の問合せはゼロ
- 細切れの学習を積上げ体系的な知識を習得できる
- 本人の判断で、デジタルバッジを提出するかしないか決められる

## ■ 教育提供者

- 個人情報取り扱いに関するコストを軽減
  - － 大阪市との受講者一覧のやりとりなし
  - － 受講登録作業なし
- 低コストで大規模な学習者への提供可能



# 生涯学習の展望

# 教員研修の変遷

## 教員研修は義務

1989年：初任者研修（教特法23条）  
2003年：10年目研修（教特法24条）  
現在の中堅教諭等資質向上研修  
2008年：指導研修（教特法25条）

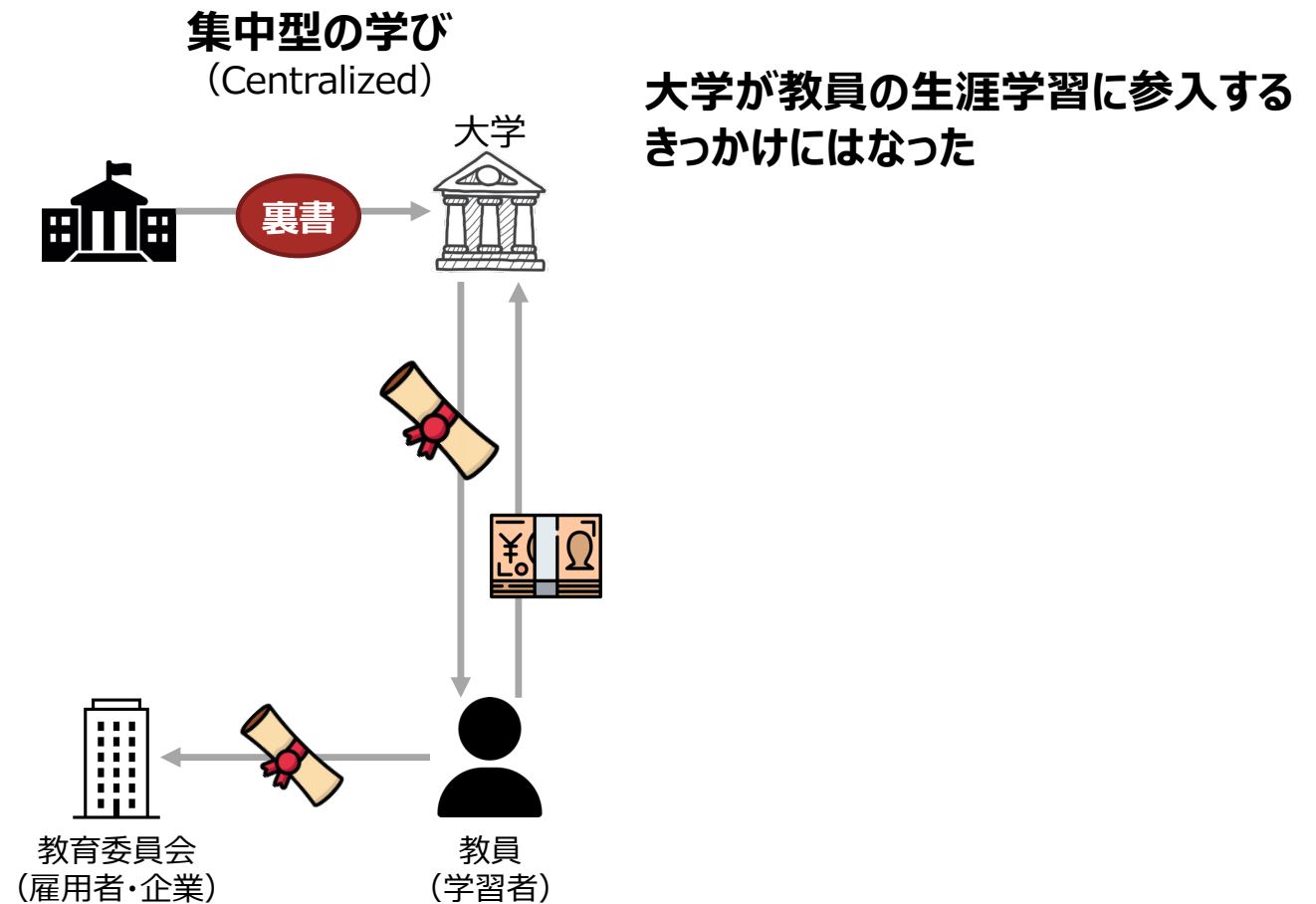
## 教員免許更新制

2009年：教員免許更新制開始  
2022年7月：発展的解消

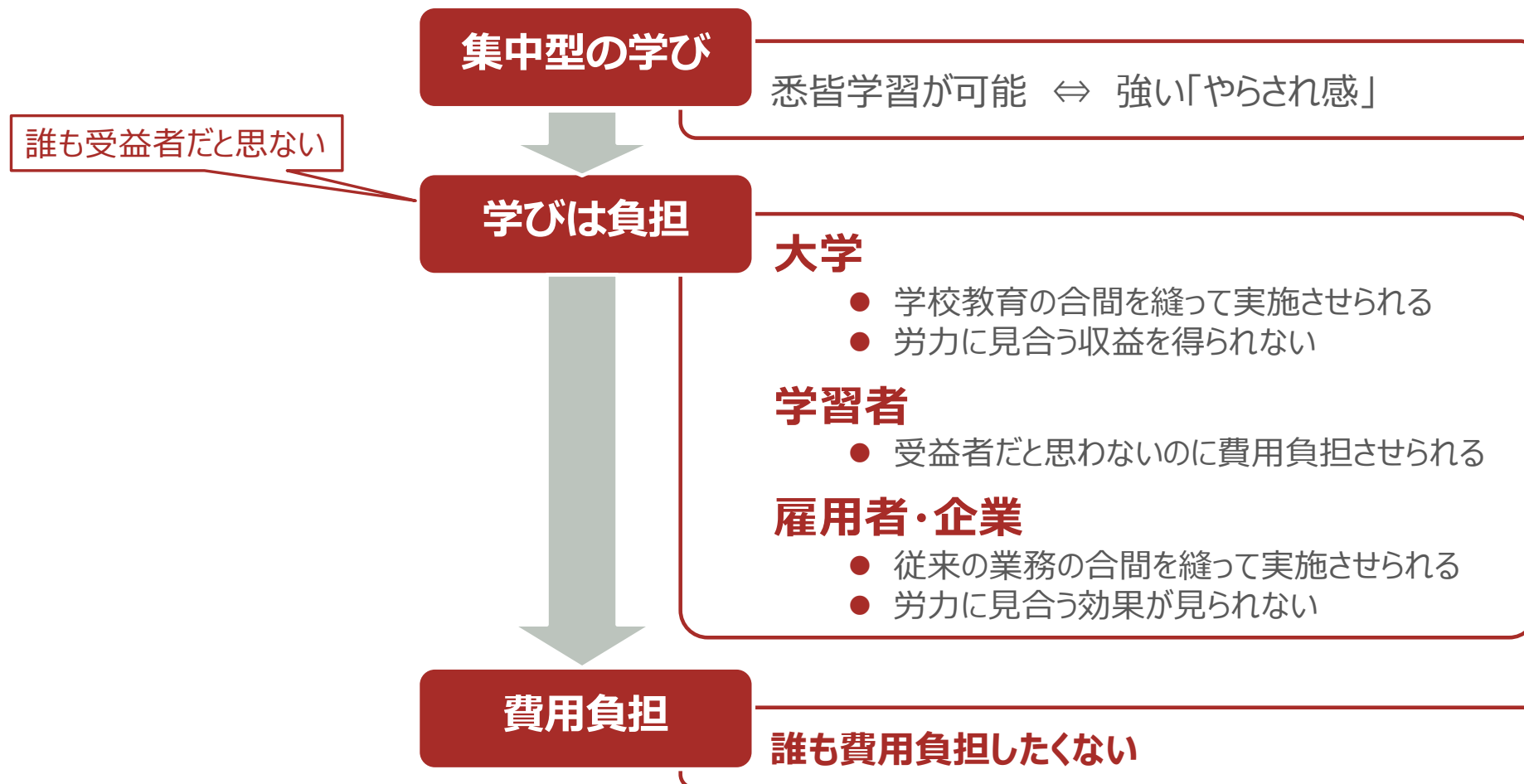
## 新たな研修の仕組み

2023年：研修記録の義務化

# 教員免許更新制

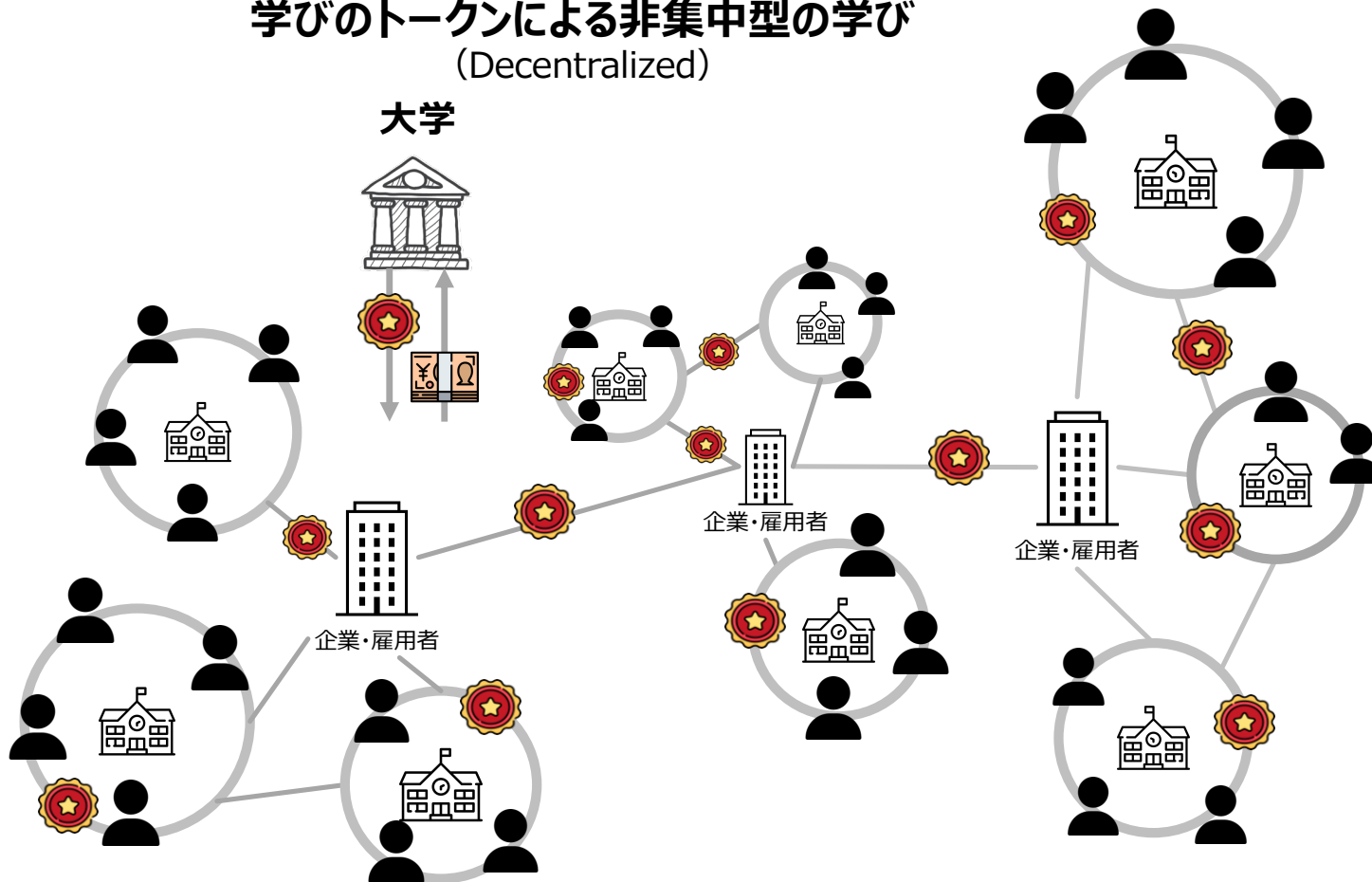


# 教員免許更新制が示唆すること



# デジタルバッジが示唆すること

学びのトークンによる非集中型の学び  
(Decentralized)



学びのトークン = 学びの価値



学びのトークンを得るものが  
受益者

受益者が見える化

# 生涯学習の展望

## 非集中型の学び

- 何を学ぶかは自分達で決定
- コミュニティが学びの質を保証（裏書）
- コミュニティが学びの価値を高める（バッジパスウェイ）

## 学びは利益

### 大学

- 学びのトークンを発行して利益を得る

### 学習者

- 自らにとって有益な学びのトークンを取得する

### 雇用者・企業

- 企業にとって有益な学びのトークンを収集する

### 社会

- 社会にとって有益な学びのトークンに投資する

## 費用負担

学びのトークンを得るものが費用を負担

# 自ら学び続ける すべての人々のために

デジタルバッジであなたの学習成果を活用

色々な方法で能力バッジを獲得できます

✓ 試しに受講してみる